

<<特別ワークショップ>>
大学発技術による新たな事業創造手法
ベンチャーアセスメントを学ぶ

■概要：

本プログラムのテーマは、「革新的な知を富に変える」ことです。新規性、進歩性に富む大学発技術を、商業化プロセスを加速・向上することで、事業化、ベンチャー化するための知識、ツールを学びます。特に本ワークショップでは、テクノロジーアセスメントの終わった大学発技術を題材として、ベンチャーの起業を通じた事業化の可能性を見出すためのアセスメント手法を学びます。

■プログラムの目的：

- ・ベンチャーアセスメントツールを理解する。
- ・事業化のためのプロジェクト作成方法を学ぶ。
- ・アントレプレナーファイナンスを学ぶ。

■対象者：

- ・研究成果の実用化を志す研究者、大学院生、ビジネスパーソン、アントレプレナー

※QBS 科目「産学連携マネジメント」（QREC 科目「起業価値評価」）を履修していることが望ましいが、未履修でも参加可

■日時：2020年2月15日（土）10:00～18:00、2月16日（日）10:00～17:00の2日間

■場所：九州大学伊都キャンパス内 イースト2号館

■人数：20名

※申込多数の場合、本ワークショップへの適合性の観点から、受講者を選抜する場合があります。

■講師：松橋俊彦 氏

（国立研究開発法人情報通信研究機構 脳情報通信融合研究センター マネージャー）

- ・京都大学工学部卒業、ボストン大学経営大学院卒業（MBA）、RTTP（国際技術移転プロフェッショナル）。大学卒業後、国内電機会社にて、研究開発、新規技術企画、経営戦略策定に従事。その後、病院事業会社にてM&A、デューデリジェンス業務に従事。2008年から大阪大学勤務し、国際産学連携、起業支援（文科省エッジプログラム）、共創テーマ創出業務等に従事。2019年4月より現職。

■プログラム内容

2月15日（土）

・ベンチャーアセスメント

イントロダクション、メソトロジー、事業化WS、ビジネスモデル

ゴール：ベンチャーアセスメント全体の手法を理解するとともに、ロジカルに考え、ビジネスモデルを作成できるスキルを獲得する。

・プロジェクト作成基礎

売上、原価、販管費、プロジェクトWS

ゴール：プロジェクトを作成する基礎知識を獲得する。

2月16日（日）

・アントレプレナーファイナンス等

企業価値、資本政策、出口戦略を学ぶ。

ゴール：アントレプレナーのためのファイナンスを理解する。

・マネジメントチーム

ゴール：チーム組成のポイントを学ぶ。

・チーム発表

数人でプロジェクトを組み、すべての講義で実習ワークを行い、最終発表を行う。

■申込み先：

九州大学大学院 経済学研究院 産業マネジメント専攻

高田研究室 椎野史子 (takata_sec@econ.kyushu-u.ac.jp)

申込み〆切：2020年2月12日

以上